

キャラクター名
黒葛 桐夜(つづら とうや)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ	ワークス	傭兵	カヴァー	年齢	29	性別	男
	モルフェウス							
オプション	ノイマン	闘争	初期侵食率	32%				
覚醒	犠牲	衝動	襲撃	邂逅				
出自	黒葛家	経験	襲撃	邂逅				

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達		
運転：二輪	1		芸術：			知識：			情報：軍事	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
6dx+4@8 紫電の顎	白兵	6r+4	3	24		CR+アーム+雷光+マルチ
7dx+4@8 紫電の顎 60%	白兵	7r+4	3	24		CR+アーム+雷光+マルチ
8dx+4@8 紫電の顎 80%	白兵	8r+4	3	24		CR+アーム+雷光+マルチ
10dx+5@7 紫電の顎 100%	白兵	10r+5	3	28		CR+アーム+雷光+マルチ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
	1				
	1				

所持品	
コネ:情報屋	
コネ:要人への貸し	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費
Dロイス:業師	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CR:ブラックドッグ	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-LV							
インフィニティウェポン	1	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	攻:LV+7、防:3の武器を作成する							
ダブルクリエイト	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	↑で作成した武器を二つにする							
イオノクラフト	1	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果：	飛行で戦闘移動する。距離+LVx2m							
アームズリンク	2	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果：	判定ゲイス+LV個							
雷光撃	4	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果：	攻+[LVx2]							
バリアクラッカー	1	4	Xジャー	武器	-	対決	80%	
効果：	装甲無視、カバーガード不可							
フルインストール	3	5+2	インシテグ	至近	自身	自動	100%	
効果：	サブ中のあらゆるゲイス+[LVx3]個							
マルチウェポン	4	3	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果：	武器の攻を合計。判定-[5-LV]							
無上厨師	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果：	料理を生み出せる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

傭兵家業を生業とする男。
主な仕事内容はオーヴァード絡みの荒事処理や要人の警護。
黒い衣服に身を包み、任務の障害となる者をどこまでも追い詰め始末する、その執拗さと忠誠心を御座して、裏社会では"黒衣の獵犬"と呼ばれ恐れられている。

黒葛家は代々ブラックドッグの能力と一子相伝の戦闘術を使用する暗殺者の家計である。
しかし長男として生まれた桐夜は能力の才能に恵まれていなかった。
ブラックドッグの能力を扱うことが出来ず、そんな彼を一族からは落ちこぼれとして迫害した。
両親すらも彼を見捨てていた中で、唯一彼の味方でいてくれたのが妹の黒葛花梨である。
妹は彼とは対照的にブラックドッグの能力に恵まれ、桐夜に代わる次期当主として将来を有望視されていた。
桐夜は当主となった彼女を影として守るべく修行を積んだ。
桐夜が19歳の頃、黒葛家は謎のオーヴァードの襲撃を受ける。
両親を含めた一族は皆殺しにされ、妹も、そして桐夜自身も殺害された。
しかし、次に目を覚ましたとき、桐夜がいたのは診察台の上だった。
死にかけていたところを〇〇に拾われた桐夜は、損傷の激しかった両腕を特殊合金製の義手にすることで蘇生されたのだった。
蘇生に際して彼はモルフェウスの能力に目覚めていた。
また、扱うことができなかったブラックドッグの能力も一部使用可能となっていた。

全てを失った代償として力を手に入れた彼は、妹の報いを受けさせるべく、自らの能力と戦闘術を生かしたオーヴァード専門の傭兵として仕事を開始した。
戦闘を繰り返す中でノイマンとしても目覚めた彼は、類まれな戦闘センスと能力によって、命じられるがままに次々と仕事をこなす"獵犬"となった。